

事業所名

児童発達支援 Kind

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

1日

法人（事業所）理念		『共食から始まる食育環境を育む』 「優しさ」は、利用者やその家族との信頼関係を築く基盤です。私たちは、子供たち一人ひとりの個性やニーズを把握し安心してサービスを利用できる環境を整えます。							
支援方針		食べ物の大切さや共食について学び、明るく元気な食生活を送るための基礎を築きます。							
営業時間		平日	11時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	○あり	なし
		土曜・祝日	10時	0分	16時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・生活リズムや生活習慣の形成・基本的な生活習慣の確立○ 健康な心と体を育み、日常生活に必要な食に繋がる動き積み重ね、健やかな成長を促します。 又発達過程の中で特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援します。							
	運動・感覚	○姿勢の維持・動作の向上と補助手段の活用・保有する感覚の総合的な活用○ 農作業や収穫体験を通じ、水や土に触れ、食物の成長を共に見守り、食べる興味へ繋がります。 又楽しみながら感覚を刺激し発達を促していきます。							
	認知・行動	○認知機能の発達・行動の習慣化・時間や数の概念の習得・外部環境の適切な適切な認知と行動の確立○ 興味の持てる環境作りに努め、作物が育っていく過程を体感し、自分で育てて食べる事で喜びや達成感、『できた』という満足感に繋がっていきます。							
	言語 コミュニケーション	○言語・コミュニケーションの基本的能力の向上・言語の形成とコミュニケーション手段の選択活用○ 要求・伝える・聴く・模倣・観察する行動の中で気持ちを尊重しながら絵カード、ハンドサイン等を使い様々なコミュニケーション方法を吸収し気持ちを伝えられるよう支援します。							
	人間関係 社会性	○他者との関わりによる人間関係の形成・自己理解と行動の調整・仲間作りと集団への参加・地域活動への参加○ クッキングを通じ、順番の交代や役割、ルールを守る、感情に気づく、感情に名前を付ける、対処方法を考える等気持ちの切り替えやコントロールを促します。 又異年齢や地域との関わりの中で視野を広げ、思考への刺激を後押しします。							
家族支援		・生活状況をアセスメントし一緒に状況理解を促します。 ・家族から（きょうだい含）の相談に対する適切な助言等。 ・定期的な面談、メールや電話等通じて様子をお伝えし共有します。				移行支援		・ライフステージに合わせた進級等に必要な準備 ・保育園、幼稚園と情報共有しながら具体的な関わり方を示唆します。	
地域支援・地域連携		療育活動を提供する事業所や団体、幼稚園・保育園等連携をしながら、障がいを持つ児童のニーズに応じた支援を行います。				職員の質の向上		経験や職種に応じた研修への参加を促し、事業所内研修や外部研修を通じスキルアップの機会を作ります。又全体会議や各委員会・療育・制度に関する検討会等により情報共有や理解周知を行います。	
主な行事等		地域社会の一員として、地域のイベントや活動の機会を持ち、春夏秋冬ごとの季節行事を大切に、外出活動や屋内活動を提供します。							